

ICTを活用した安全技術「ICT安全」の事例

1枚に1技術を目安に記載願います

JCMA機電i-Con現場WG

発行No
A-33

■技術名称	
バイタルセンシングバンドを用いた安全管理支援ソリューション	
■基本情報	
発注者 会社名	
工種 (大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 / 舗装/ 橋梁 / 構造物 / その他 ()
工種 (小項目)	
仕様	発注者指定 / 受注者独自
採用事由	①ICT対象工事 ②技術提案 ③自主導入 ④ <u>創意工夫</u> ⑤その他 ()
採用目的	災害防止 / <u>危険有害要因の低減</u> / メンタルヘルス・作業環境の改善 / その他 ()
■実施内容詳細 (危険事例や想定だけの場合は本欄の記入は不用。)	
対象数量	防潮堤建設工事に係る作業員20名。
活用ICT	無人化・省人化 / <u>行動センシング</u> / 機械センシング / その他能力支援 ()
システム業者	株式会社 富士通マーケティング
導入効果・検証 (1)	作業員にバイタルセンシングバンド(リストバンドタイプ)を装着することで、温湿度及びパルス数を計測し、装着者の熱ストレスや身体負荷を推定することにより、事前に設定した条件に沿ったアラート通知が可能となった。
導入効果・検証 (2)	アラート通知は現場管理者及び装着者本人に通知が可能であり、装着者本人への注意喚起及び現場管理者への情報管理をリアルタイムに行うことが可能となった。
導入効果・検証 (3)	なし。

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
■参考図・写真	
<p>作業員本人にはバイプレーションで通知</p> <p>アラームを確認して休憩指示等を行う</p> <p>クラウド (FUJITSU Cloud Service IoT Platform)</p> <p>センサーゲートウェイ</p> <p>アラーム通知</p> <p>スマートフォン</p> <p>現場管理者</p>	
■欲しい安全機能、改善したい機能	
<p>クラウドサーバーへのデータ送信用に、着用者全員にスマートフォンを携帯させる必要があるため、スマートフォンの故障リスクの懸念がある。</p> <p>Wifi環境等による、スマートフォンを経由しないデータ送信機能の検討。</p>	
■課題・要望事項	
なし。	